

平成19年12月26日

各位

会社名 鬼怒川ゴム工業株式会社  
 代表者名 取締役社長 関山 定男  
 コード番号 5196 東証第1部  
 問合せ先 常務取締役 三尾谷 淳  
 TEL(043)259-3112

## 役員人事のお知らせ

鬼怒川ゴム工業株式会社では、12月26日開催の取締役会において、下記の通り役員人事を決定致しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 取締役の職務変更(平成20年1月1日付)

新職	旧職	継続職	氏名
管理部担当、管理部長委嘱	経営企画室、管理本部、管理本部総務人事部、真岡事業所担当経営企画室長、管理本部長委嘱	常務取締役、執行役員	三尾谷 淳
品質安全環境管理部、防振事業部担当、防振事業部長委嘱	品質環境本部、品質環境本部環境管理部、第二事業部門担当、品質環境本部長、第二事業部門長委嘱	常務取締役、執行役員	増井 俊彦
調達部、営業部、精密エラストマー事業部担当、調達部長、営業部長、精密エラストマー事業部長、営業部営業企画グループ長委嘱	調達本部、営業本部、第三事業部門、北米事業部門担当、調達本部長、営業本部長、第三事業部門長、北米事業部門長委嘱	常務取締役、執行役員	依田 憲雄
車体事業部担当、車体事業部長委嘱	技術生産本部、技術生産本部設計部、第一事業部門担当、技術生産本部長、第一事業部門長委嘱	常務取締役、執行役員	西川 勉

#### 2. 執行役員の職務変更(平成20年1月1日付)

新職	旧職	継続職	氏名
車体事業部担当	北米事業部門担当	執行役員、TEPRO,INC.代表取締役社長委嘱	垣添 一義
品質安全環境管理部担当、品質安全環境管理部長、同安全環境管理グループ長委嘱	品質環境本部品質保証部担当	執行役員	平野 収
車体事業部担当	技術生産本部生産管理部、第一事業部門担当	執行役員	久保 広機
管理部経理グループ、同業務改革グループ担当	管理本部経理・情報システム部担当	執行役員、内部監査室長委嘱	北沢 浩
営業部第一営業グループ、同第二営業グループ担当	営業本部営業企画部、同営業部担当	執行役員	伊藤 弘之
車体事業部担当	技術生産本部技術部、第一事業部門担当、技術生産本部	執行役員	新行内 保
防振事業部担当	第二事業部門担当	執行役員、CPR会長(非常勤)・ナリタ合成(株)代表取締役社長(非常勤)委嘱	京井 裕司
調達部、精密エラストマー事業部担当	調達本部調達企画部、同資材・部品部、同サービスサポート部、第三事業部門担当	執行役員	小葉 次郎

3. 従業員の異動(平成20年1月1日付)

新職	旧職	継続職	氏名
品質安全環境管理部 品質保証グループ長	品質環境本部 品質保証部主管		佐藤 秀一
管理部 経営企画グループ長	経営企画室主管		三塚 弘也
管理部 総務人事グループ長	管理本部 総務人事部長	真岡事業所長	高橋 昭夫
管理部 経理グループ長	管理本部 経理・情報システム部主管		友松 隆
管理部 業務改革グループ長、総務人事 グループ主管	管理本部 総務人事部主管		外山 武明
調達部 調達企画グループ長  管理部業務改革グループバック オフィス改革・情報管理チーム主管	調達本部 調達企画部主管 同統括グループリーダー		小幡 和正
調達部 調達グループ長	調達本部 調達企画部長 同サービスサポート部長		松永新太郎
調達部 SCMグループ長	調達本部 サービスサポート部主管		嶋村 岩雄
営業部 第一営業グループ長 同第二営業グループ長  管理部業務改革グループバック オフィス改革・情報管理チーム主管	営業本部営業企画部主管		真壁 裕良
車体事業部 車体事業管理グループ長	北米事業部門主管 技術生産本部 生産管理部主管		青木 敬徳
車体事業部 プログラム管理グループ長	技術生産本部 技術部主管 同開発グループリーダー		星野 直昭
車体事業部 車体技術グループ長	技術生産本部 技術部主管		萩原 秀徳
車体事業部 車体技術グループ長	技術生産本部 設計部長		小暮 弘昭
防振事業部 防振事業管理グループ長	第二事業部門主担		植田 和彦
防振事業部 防振事業推進グループ長	調達本部 資材・部品部主管		亀田 正直
精密エラストマー事業部 精密エラストマー事業管理 グループ長	第三事業部門主管		峯 直仁
精密エラストマー事業部 精密エラストマー営業グループ 長同精密エラストマー技術 グループ長	経営企画室主管		伊藤 秀毅

## 4. 組織改正(平成20年1月1日付)

### 1、組織改正・人事異動の主旨

企業体質の改革を強力に推進して当社グループの競争力を強化するため、責任と権限をより明確にした収益管理体制と、お客様志向で社内連携を高めスピーディーで効率的な業務運営が出来る組織を狙いとして見直し。

人事面に於いては、『実力本位』と『適材適所』の考え方に基づいて、人材の若返りと再配置を実施。

### 2、新組織の概要

1)従来の四事業部門(第一、第二、第三、北米)を三事業部(車体、防振、精密エラストマー)に改組再編。

『車体事業部』は従来の第一事業部門を車体事業とホース事業に分離し、北米事業部門を統合。

『防振事業部』は従来の第二事業部門。

『精密エラストマー事業部』は従来の第三事業部門とホース事業を統合。

2)事業責任と権限を明確化するため事業軸の統制機能を強化、自己完結出来る体制で客先志向の機動的な運営により積極的に拡販を推進。

車体事業部は開発・技術～生産まで一貫通貫の組織とした。

防振事業部は、機能軸部門にあった生産技術機能を分離し集中化。

精密エラストマー事業部は営業～開発～生産まで専門の組織とした。

3)営業体制を拠点別から得意先別・製品群別体制に変更し、グローバルに一貫管理出来る体制とした。

一部は精密エラストマー事業部に移管。

顧客対応力を向上するため所在地・役割を見直し、厚木営業所、デトロイト事務所、パリ事務所を発展的に解消。

4)間接部門の業務改革を推進するため業務改革グループを新設し、システム開発と本社のバックオフィス業務を集中化。

将来はグループ会社全体の効率化を推進。

### 3、人事異動

新中期計画『キヌガワチャレンジ2010』を達成するためには企業グループの改革が必要不可欠。

スピーディー且つダイナミックに改革を推進していくため、人材の若返りを図るとともに管理職個々人の管理・専門スキルを最大限に発揮出来る適材適所の人材登用を実施。

以上